



春の盛りの勝沼で、銀色に輝く桃の枝。



桃の枝って、こんなに
美しいものが、
とあらためて驚いた。



指輪物語

このところ、米イラク戦争の報道に気が滅入っている、と同時進行で「指輪物語」を読みふけっている。「指輪物語」は、指輪をめぐる人や魔法使いなどの戦いの話だが、現実には戦争が起こっているこの時期に読みふけているとは、自分が物語の中に逃げているのか、物語を通して考えようとしているのか..しかしながら、多くの示唆を「指輪物語」は与えてくれる。文明と自然、命と生きる価値といったことを考えさせる言葉やエピソードが随所に出てくるのだ。

「指輪物語」の<指輪>とは、幾多の力ある指輪を掌握する力を持つ指輪で、これを使えば最強の力を得るため、魔法や武力や権力などのすでに「力」を持っている者ほど指輪を持ちたいと魅入られがちだ。しかし、持てば道を誤る悪の指輪であるために、正しい道を歩もうとする賢者は持とうとしない。めぐり合わせで、弱い人(ホビット)が指輪の保持者となり、処分する役目を担うことになるというのが話の始まりだ。この弱い人ホビットの設定がすごい。ホビットは、自分が弱い存在であることを知っているために、強い者達が負ける誘惑に勝てる、という、パラドックスなのだ。

さらに、悪い者さえ生きていると何かの役目があるかもしれないから、むやみに命を殺めてはならないという考えさえも「指輪物語」は示している。

パワーゲームが肯定される現代では、「強欲」や「傲慢」といった言葉は、あまり使われなくなっているが、<指輪>の誘惑は現実にも存在する。「指輪」をいまの私たちの世界に置きかえて、力をもたらす指輪イコール「人脈」や「金脈」とみられることも出来る。「力」を持つ者ほど「強欲」や「傲慢」に引き込まれないよう正しい道を歩むことを目指すべきだし、そのような大人になる教育も必要だと思う。

明るい窓辺
でお茶する
楽しみ



「LAWLEYS TEA」

紅茶カフェや緑茶カフェが街中に増えているが、紅茶販売の「LAWLEYS TEA」は、生活の中で紅茶を楽しんでもらおうと、谷口社長が創めた紅茶販売会社。イギリス人が楽しむティータイムを日本にも根付かせたいという発想の元、毎日のティータイムを幸せに!のコンセプトで商品構成がされている。オリジナルのティーセットはフェミニンなテイスト、茶葉は高価な茶葉だけでなく、「幸せなうちカフェ」を気軽に楽しめる手頃な茶葉も販売している。

本店は広尾1-15-16 TEL03-3443-4154 カタログ販売もあり、

5月には今年最初のファーストフラッシュ(初摘み茶葉)の発売が始まる。

右の写真は、3月半ばに幕張で開催されたFOODEXでのLAWLEYS TEA会場内で紅茶講座を開き、女性客を集めて盛況だった。



グリコ ウォータリングキスマントガム

薄型横長パッケージといい、小型ガムの1枚といい、刺激薄めの爽やかな味と香り、シュガーレスでひんやり感のある甘さといい、なんとも自然派の雰囲気のある新しいガムを発見した。コンビニでパッケージを見た途端に、この軽やかな味を想像できたから、ほんとうにいい商品だと思う。

効果は、ウォータリング成分(6種の有機酸)配合で、かわいた口がうるおう、さらに、ハーブ成分とグリーンアップルの香りで息をきれいに保つ、とある。息キレイと聞けばクロレッツを思い出すが、ウォータリングキスマントはもっとかろやか、ツンツン鼻にぬけたりしない。写真は4種あるうちのひとつ、アップルミント。

